

パートナー様によるホスト型 Microsoft Office

パートナー様向けライセンス ガイド

Microsoft Services Provider License Agreement (SPLA) により、パートナー様はホスト型の Microsoft Office ソリューションを作成して提供することができます。このガイドでは、パートナー様のホスト型 Office ソリューションをエンド ユーザーに提供するうえで必要になるライセンス コンポーネントについて説明します。

ホスト型 Office に必要なライセンス

ホスト型 Office ソリューションを提供するためには、ソフトウェア ソリューション スタック全体の適切なライセンスが必要になります。ソフトウェア ソリューション スタックには、Windows Server、リモート デスクトップ サービス、Microsoft Office が含まれます¹。詳細については、以下の各セクションをご覧ください。

Windows Server

ホスト型 Office ソリューションをサポートするためには、Windows Server のライセンスを取得する必要があります。SPLA プログラムには Windows Server のライセンスを取得できる以下の 2 種類のライセンス モデルがあります。

1. コア単位: Essentials Edition、Standard Edition、Datacenter Edition

ホスト型 Office サービスを実行しているサーバーの物理コアごとに Windows Server コア ライセンスを割り当てる必要があります。

2. ユーザー単位のサブスクリイパー アクセス ライセンス (SAL): Standard Edition、Enterprise Edition

サーバー ソフトウェアのインスタンスへのアクセスを許可されているエンド ユーザーごとに Windows Server SAL を割り当てる必要があります。

リモート デスクトップ サービス

ホスト型 Office サービスへのアクセスを許可されているエンド ユーザーごとにリモート デスクトップ サービス (RDS) SAL が必要になります。デバイス SAL は利用できません。サービス プロバイダー製品使用権説明書 ([SPUR](#)) には、以下のように規定されています。

“Windows Server Remote Desktop Services の機能またはその他のテクノロジーを使用してグラフィカル ユーザー インターフェイスをホストする、Windows Server などのサーバー ソフトウェアへの直接または間接的なアクセスを提供することによって使用される、デスクトップ アプリケーション (Office など) の提供には、Windows Server リモート デスクトップ サービス SAL が必要です。”

なお、RDS サービスを使用していなくても、グラフィカル ユーザー インターフェイスを提供する場合は Windows Server RDS SAL が必要になります。

¹ サービス プロバイダー製品使用権説明書 (SPUR) は、SPLA で利用可能な製品の著作権について規定するものです。
<https://www.microsoft.com/ja-jp/licensing/product-licensing/products>

ホスト型 Microsoft Office ライセンス ガイド – 2018 年 10 月

Microsoft Office

ホスト型 Office サービスへのアクセスを許可されているエンド ユーザーごとに Microsoft Office SAL が必要になります。デバイス SAL は利用できません。SPLA プログラムでは、以下のエディションの Microsoft Office を利用できます。

- Office Standard
- Office Professional Plus

ユーザー SAL のカウント

ホスト型 Office サービスへのアクセスを許可されているすべてのエンド ユーザーには、使用頻度や使用期間にかかわらず、ホスト型 Office サービスへのアクセスを許可されている期間中は毎月、上記のすべての付属製品の適切な SAL が必要になります。個々のエンド ユーザーの報告義務を解除するためには、ホスト型 Office サービスからそのエンド ユーザーのアクセス権を削除する必要があります。

SPLA を通じた期間限定の無料使用

SPLA 契約では、エンド ユーザー 1 人につき 60 日間のエンド ユーザー向けの評価版を提供しています。エンド ユーザー向けの評価版では、使用状況を報告する必要はありません。各種条件が適用されます。詳細については SPLA 契約をご確認ください。

よく寄せられる質問

1. カウントの対象となるのは、ホスト型 Office サービスに毎月アクセスしているユーザーやアクティブ ユーザーのみですか。

いいえ。サービスへのアクセスを許可されているすべてのエンド ユーザーをカウントする必要があります。[SPUR](#) には、以下のように規定されています。

“本サーバー ソフトウェアに実際にアクセスするかどうかにかかわらず、本サーバー ソフトウェアのインスタンスへの直接または間接アクセスを許可するユーザーごとに SAL を取得して割り当てる必要があります。”

2. Windows Server のリモート デスクトップ サービス機能は使用していませんが、Office をホストしていません。この場合、RDS SAL を報告する必要がありますか。

はい。グラフィカル ユーザー インターフェイスへの直接または間接アクセスを提供する場合は、RDS SAL が必要になります。エンド ユーザーに Office (グラフィカル ユーザー インターフェイス) へのアクセスを提供する場合は、Windows Server への間接アクセスを提供することになります。SPUR には、以下のように規定されています。

“Windows Server Remote Desktop Services の機能またはその他のテクノロジーを使用してグラフィカル ユーザー インターフェイスをホストする、Windows Server などのサーバー ソフトウェアへの直接または間接的なアクセスを提供することによって使用される、デスクトップ アプリケーション (Office など) の提供には、Windows Server リモート デスクトップ サービス SAL が必要です。”

3. ホスト型 Office ソリューションの一部として Windows デスクトップ オペレーティング システムを使用することはできますか。

いいえ。Windows デスクトップ オペレーティング システムは、ソフトウェア サービス (ホスト型 Office サービス など)へのリモート アクセスや提供を行うホスト型ソリューションを提供するためには使用できません。

4. 提供しているホスト型 Office ソリューションに適切なライセンスを取得していることをエンド ユーザーに保証する方法を教えてください。

マイクロソフトは個別の企業におけるライセンスのコンプライアンスを保証することはありません。ただし、パートナー様は以下の手順に従うことで、マイクロソフトのライセンス要件を遵守していることをエンド ユーザーに示すことができます。

- パートナー様のマーケティング資料において、パートナー様のソリューションがマイクロソフトのライセンス要件を遵守していることについて混乱を招く記載がないことを確認します。
- ライセンスを取得している製品の商標に関するガイドラインを確認して遵守します。
www.microsoft.com/trademarks および SPLA 契約をご確認ください。
- パートナー様のソリューションがホスト型 Office ソリューションに関するマイクロソフトのライセンス要件に準拠していることを説明する FAQ を提供します。

参考資料

Microsoft Services Provider License Agreement プログラム

<https://www.microsoft.com/ja-jp/licensing/licensing-programs/spla-program.aspx>

Microsoft Hosting

<http://www.microsoft.com/hosting/>

¹ サービス プロバイダー製品使用権説明書 (SPUR) は、SPLA で利用可能な製品の使用権について規定するものです。

<https://www.microsoft.com/ja-jp/licensing/product-licensing/products>